

## 白浜レスキューネットワーク通信 10～12月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

10月1日～12月31日

メール相談 4人

保護件数 5件 4名(男性2名、女性3名)

帰宅件数 2件 2名(男性1名、女性1名)

○10月14日から、理事長が腹膜偽粘液腫で入院手術を行い、12月14日退院。その間、電話相談や保護活動は、4人のボランティアスタッフで続けた。

○電話件数は、月間200件を超えている。

○保護した男性の一人は帰宅。一人は現在も共同生活を行っている。

○保護した女性の一人は近所のアパートへ。一人は帰宅。一人は現在も共同生活を行っている。

### 生活自立支援活動

10月1日～12月31日

滞在者数 14人(男性9人、女性5人)

広井、弘中、戎島、太田、関、真下、内田、真鍋、鈴木、山本、菊池、平林、三栖、北村

○昨年10月に保護した80代女性は、偶然、娘と再会。出て来た家に帰る気持ちが出て来たが、数日後に娘から届いた手紙の内容にショックを受け、帰る決意が鈍る。今後も娘との関係回復が鍵だ。

○10月15日保護された女性は、夫と連絡が取れ、しばらく滞在しながら、ゆっくり考える時間を持つことになった。決して夫婦の関係が壊れているわけではなく、夫も理解してこの状況を赦してくれるようだ。

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、引きこもりを肯定しているところに働きかける時が来ている。

○80歳の男性は、ホームへのショートステイも

とりいれながら生活している。

○まちなかキッチンで訓練を受けている30代男性は、10年前から連絡を取っていなかった友人との関わりが再開した。

○40代男性は、精神科に通いながら、もう一度まちなかキッチンで訓練を受けたいとやり直している。

○惣菜部門で訓練を受けている女性は、保養所の仕事にも入るようになった。

○リハビリ期間が終わった男性は、まちなかキッチンで副菜主菜詰めの仕事を始めた。

○ホテルに勤める40代の男性は、人間関係からホテルをやめ、ガードマンの仕事に転職した。

○明誠高校和歌山白浜SHIPで学ぶ高校生は、スクーリングや学期末テストにも合格し、新学期を迎えられそうだ。

○7月から共同生活に加わった50代男性は、新聞配達の仕事にも慣れ、生活面でも落ち着いて来た。まちなかキッチンでも訓練が始まった。

○糖尿病の60代の男性は、12月に目の手術を行うため入院した。

○40代女性は、時間内にすることを訓練中。

### 自殺予防活動

#### ・相談電話

毎週水曜日の夜に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

#### ・コペルくん

子どもたちへの活動を小学校と連携しておこなっている。第一小学校と西富田小学校から、2～6名の子どもたちが集まっている。

#### ・はじめ人間自然塾

コロナ渦にあり、現在休止中。クリスマスやお餅つきも今年は自粛した。